



<CAM インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年11月6日

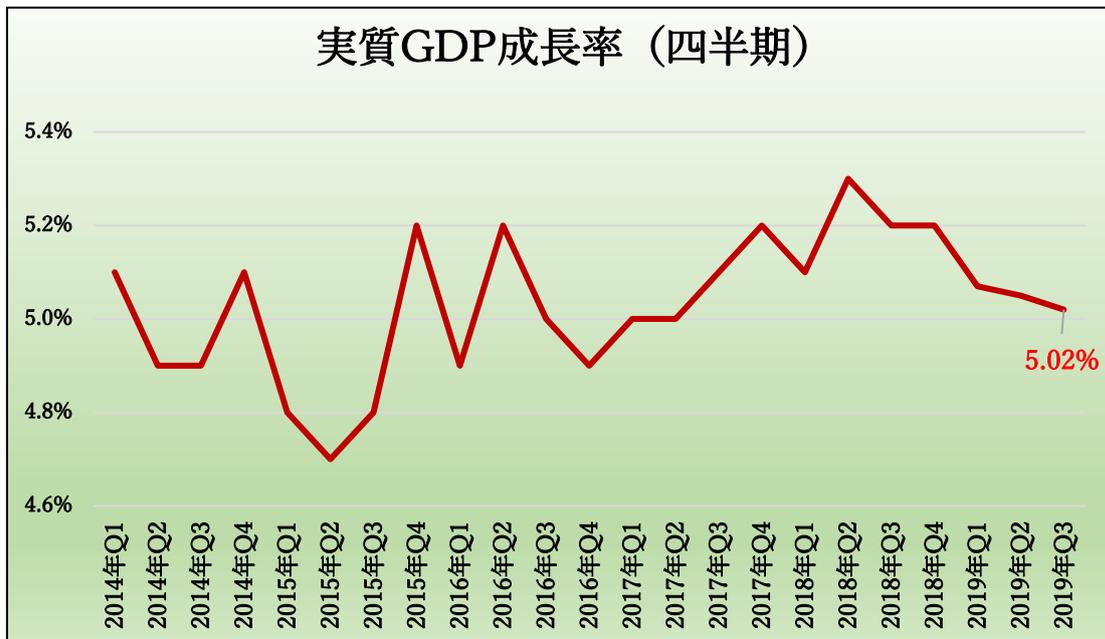
インドネシアの7-9月 GDP

前期から減速し 5.02%へ

インドネシア中央統計局(BPS)によると、同国7-9月のGDP成長率は前年同期比+5.02%だった。前期(4-6月)の+5.05%から小幅に減速して、2017年4-6月期以来の低水準となった。

輸出と民間消費がさえないのが主因。世界景気の減速で石炭・パーム油の輸出が不振に加え寄与度の高い(56.5%)民間消費も前期の+5.20%から+5.01%へと低下した。

期待される投資も4月の選挙以降回復気味ではあるが、ベトナム他アセアン諸国が米中貿易摩擦の恩恵をうけて、海外直接投資が伸びているのに対し、インドネシアはこの点で出遅れていることが懸念される。



出所：BPS のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上